

令和4(2022)年度

事業報告書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

公益財団法人北九州国際交流協会

令和 4(2022)年度 事業報告書

本協会は、長期ビジョン「多文化を受け入れ世界に開かれた魅力ある地域づくりと人づくり」の下、令和3(2021)年度を初年度とする5か年の中期計画に基づき、

- 1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実
- 2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献
- 3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

の3つの分野における事業を実施した。

令和4(2022)年度は新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着きを見せる中で、オンラインによる日本語教室の開催、基本的な感染対策を講じた多文化共生事業の実施、協会ホームページの全面リニューアルを行ったほか、高城外国人材活躍支援資金等(寄附金)を活用し、留学生の地元就職支援などを行った。

また、ウクライナ避難民受入のため、「ウクライナ避難民相談窓口」を設置し、相談対応や関係機関との連携による支援を行った。

1 ポストコロナ時代を見据えた外国人市民のコミュニケーション環境の充実

(1)外国人市民への相談対応

ア 多文化共生ワンストップインフォメーションセンターでの相談

○八幡西区役所及び小倉北区役所で、外国語相談員が日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語による相談対応を行い、それ以外の言語はタブレット端末を活用した多言語通訳システム等の活用により最大22言語の相談に対応した。

○多面的かつ継続的な支援を必要とする相談に対しては、社会福祉士の資格と外国人支援に関する知識・経験を持つ「多文化ソーシャルワーカー」が関係機関と連携し、相談者に寄り添った長期的なフォローを行った。

○「生活者」、「子ども」、「就労者」を対象とした日本語教育に関する相談は、日本語コーディネーターが外国語相談員と連携して対応した。

対応日時：月曜～金曜日 9:30～16:00

相談者数 969人 相談件数 1,140件

○相談通訳コーディネーターが通訳者の育成・派遣を行い、日本語の苦手な外国人市民に寄り添った支援を行った。

※コミュニティ通訳業務(市の委託事業)

対応件数：198件(内派遣件数51件)

言語別件数：英語106件、中国語45件、ベトナム語38件、インドネシア語3件、
タイ語3件、タガログ語1件、ネパール語1件、モンゴル語1件

内容別件数：区役所(行政手続)関係131件、子育て支援(子ども関係)30件、
子育て支援(母親関係)12件、保健所業務3件、その他22件

※医療通訳派遣(協会の法人賛助会員は無料)

派遣件数:8件

言語別件数:英語3件、中国語5件

診療科別件数:消化器内科1件、内科6件、産婦人科2件、循環器科1件、
皮膚科1件、眼科5件(複数科受診を含む)

※産婦人科2件のうち1件は市の助成による産婦健診のため、市委託の
コミュニティ通訳としても計上

イ 専門家相談

専門的な分野の相談には、必要に応じて通訳が同席する無料の専門家相談会を実施した。

○行政書士による「入国、在留、ビザ手続きの相談会」	1回/月	相談件数:37件
○弁護士による「法律相談」	1回/月	相談件数:15件
○臨床心理士による「心理カウンセリング」	2回/年	相談件数:2件

ウ 外国人支援機関ネットワークの活用

福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市等で構成する「外国人支援関係機関連絡会議」において、外国人市民の抱える課題等の情報共有を図り、多文化共生ワンストップインフォメーションセンターの業務にフィードバックした。

開催日:9月30日(西日本総合展示場)	参加者数:37人
3月2日(子どもの館 子どもホール)	参加者数:35人

出席機関:福岡県弁護士会、福岡県行政書士会、北九州市教育委員会、福岡出入国
在留管理局、北九州市(国際政策課、地域福祉推進課、区保健福祉課等)

エ ウクライナ避難民相談窓口による相談・支援

令和4(2022)年3月にウクライナ避難民相談窓口を設置し、行政機関や支援機関と連携しながら北九州市に避難してきた避難民6人に対し、相談対応や情報提供など必要な支援を行った。

(2)多言語による情報提供の改善

ア ホームページ等による広報

日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応したリニューアル後のホームページから、フェイスブックやインスタグラムの活用と併せて効果的な情報発信を行った。
リニューアル前に比べてホームページアクセス件数が約5.9倍に増えた。

※ホームページアクセス件数

日本語 173,992件、英語 12,672件、中国語 5,652件、韓国語 2,533件	
ベトナム語 3,074件、やさしい日本語 3,287件	合計 201,210件
Facebook フォロワー数:1,388人	Instagram フォロワー数:303人

イ 「北九州市災害多言語支援センター設置運営マニュアル」の作成(市の委託事業)

市との協定に基づき大規模災害発生時に開設する「北九州市災害多言語支援センター」の運営マニュアルの素案を昨年度に作成しており、そのマニュアルを基に訓練を行った。訓練の

監修には、災害時外国人支援のパイオニアである田村太郎氏を招いて、外国人支援や災害多言語支援センター運営を円滑に行う為のアドバイスをいただき、訓練で気づいた内容も整理して、マニュアルを策定した。

(3)日本語教育の推進とICT活用

ア 日本語教室の運営

地域で暮らす外国人や外国人児童生徒を対象とした協会主催の日本語教室は、ICTを活用しオンライン形式で教室を開催した。

(ア)外国人生活者支援

○「ママとパパのための日本語教室」(オンライン)

開催期間:5月12日～3月9日(毎週木・金曜日 10:30～12:00)

開催回数:59回 登録学習者数:76人

学習者の国籍:インドネシア、中国、パキスタン、ベトナム、韓国、バングラデシュ、タイ、ハンガリー、香港、フィリピン、ドミニカ共和国、シンガポール、ネパール、モンゴル、ウクライナ、カザフスタン、パレスチナ、イラン、フランス、ナイジェリア、ケニア、インド、カメルーン

※9月以降、同教室で新たに漢字学習を補講として行った。

○「はじめてのにほんご」(オンライン)

開催期間:5月17日～3月7日(毎週火曜日 9:30～12:00)

開催回数:30回 登録学習者数:76人

学習者の国籍:パキスタン、中国、モンゴル、香港、カザフスタン、インドネシア、ベトナム、フィリピン、ネパール、イラン、タイ

※9月以降、同教室で新たに漢字学習を補講として行った。

(イ)「にほんごひろば」(オンライン):外国人子ども支援(児童生徒を対象にした日本語教室)

開催期間:4月23日～3月18日(毎週土曜日 10:30～11:30)

開催回数:32回 登録学習者数:17人 登録ボランティア数:20人

学習者の国籍:中国、モンゴル、インドネシア、香港、ベトナム、イラン、フィリピン

(ウ)「中上級のための日本語教室」(オンライン)

開催期間:令和4年3月8日～12月3日(毎週火・木・土曜日)

開催回数:115回 登録学習者数:21人(うち人材バンクへの登録:3人)

学習者の国籍:タイ、ベトナム、中国、ネパール、韓国、米国、フィリピン

(エ)日本人と外国人のための日本語交流会(全5回)

市内在住の日本人と外国人が日本語を使って交流を行った。

開催日:①7月2日 参加者数:28人(日本人13人、外国人15人)

②11月26日 参加者数:23人(日本人9人、外国人14人)

③12月16日 参加者数:15人(日本人4人、外国人11人)

④2月18日 参加者数:8人(日本人4人、外国人4人)

⑤3月3日 参加者数:16人(日本人8人、外国人8人)
場 所:①② 北九州国際交流協会 ③④⑤オンライン

イ 地域日本語教室との連携

(ア)地域日本語教室への支援

市内で日本語教室を運営している13の教室・団体の課題や問題点の把握に努めるとともに必要な支援を行い、連携して日本語教育を推進した。

○地域の日本語教室11教室に対して運営資金の一部を助成(59万円)

○教室の活動状況アンケート(隔月)

○ボランティア向け研修会の開催

①テーマ:すぐに使える漢字学習のヒント ～暮らしの文字の習得を目指して～

開催日:10月22日

場 所:西日本総合展示場

参加者数:22人

講 師:一般財団法人ダイバーシティ研究所「生活の漢字を考える会」

新矢 麻紀子氏(大阪産業大学 国際学部教授)

新庄 あいみ氏(大阪大学 非常勤講師)

②テーマ:地域日本語教室で学んだ外国人の話の聞く会

開催日:2月25日

場 所:北九州国際交流協会

参加者数:21人

講 師:キム サニ氏、趙 丹氏、チャン テ ヴィン氏、耿 贈朝氏

○地域日本語教室との意見交換会

開催日:7月18日

場 所:北九州国際交流協会

参加者数:12教室の代表者・メンバー計14人

(イ)空白地域の解消に向けた取組

日本語教室の空白地域である門司区において外国人を雇用している企業や外国人就労者等の現地聞き取りや情報収集を行い、日本語教室のあり方を検討した。

教室での学習支援を行うボランティア向け日本語教室準備講座を企画して、ボランティアを募集した。

聞き取り調査対象企業:28社

ボランティア申込者数:36人

準備講座会場:門司生涯学習センター大里分館

※準備講座は令和5(2023)年4月に開講(4回)

(ウ)日本語スピーチコンテストの開催

「留学生日本語弁論大会」と「日本語おしゃべり発表会」をそれぞれ第一部・第二部とした「日本語スピーチコンテスト」を実施した。

外国人留学生や日本語教室の学習者、技能実習生等に、日本語でスピーチする機会を提供することで、日本語学習意欲の増進と地域日本語教室間の情報共有、相互理解の促進につながった。

開催日:1月9日

場 所:北九州芸術劇場 中劇場

発表者数:29人(中国11人、インドネシア8人、韓国2人、インド2人、ベトナム1人、アメリカ1人、ネパール1人、ジャマイカ1人、日本1人、モンゴル1人)

来場者数:133人

ウ 外国人受入企業の支援

市内の監理団体や登録支援機関等の担当者に話を聞き、技能実習生等のニーズの把握に努めた。就労者への日本語学習支援については関連機関との連絡体制を整え、外国人就労者への学習だけではなく受け入れ企業側の社員に向けての研修についても検討した。また、関係団体へ協会の取組を紹介した結果、市内企業9社から相談を受けたが、企業への講師派遣までは至らなかった。

○「日本語教育プログラム」(外国人就労者受入向け)簡易チラシの配布

配布先:北九州市内の監理団体及び福岡出入国在留管理局北九州出張所、JETRO、窓口での相談企業など合計20社

※「福岡県外国人材受入対策協議会」「北九州都市圏域会議」等でも紹介

○外国人就労者に関わる地域日本語学習支援者・日本語教師のための講話の開催

地域日本語学習支援者、日本語教師を中心にベトナム人技能実習生の入国前・入国後の生活や日本語学習・課題についての講話を聴いた。

テーマ:ベトナム人技能実習生への日本語学習支援～3つの視点から語るここだけの話～

開催日:4月30日

場 所:オンライン

参加者数:26人

講 師:杉原 賢治氏(NPO 法人にほんごコミュニティ 代表)

○「北九州市内の企業と監理団体・登録支援機関をつなぐ合同相談会」への出展

その他団体として出展し、参加団体等と情報交換を行った。

出展日:10月18日

場 所:西日本総合展示場

参加監理団体・登録支援機関:23社

○福岡県外国人技能実習生受入組合連絡協議会との情報交換

開催日:12月14日

場 所:国際マネジメント福岡協同組合

エ 北九州市における地域日本語教室のあり方についての検討会議

外国人市民のうち特に就労者に対する日本語教育について関係団体と意見交換を行った。

開催日:2月4日

場 所:子どもの館 パーティールーム

出席者数:14 人(北九州ベトナム人協会、北九州ムスリム会、北九州市雇用政策課等)

2 外国人市民による地域の活性化やグローバル化への貢献

(1)外国人材の発掘・情報収集

外国人の視点から地域の魅力を発信できる人材の発掘・情報を収集し、人材登録に向けた準備を行った。

○多文化共生事例調査事業(市の委託事業)

市内における多文化共生に関する好事例について調査・考察を行い、報告書をまとめた。

調査対象:一般社団法人北九州ムスリム会と若松区二島地区

(2)留学生支援

ア 地元企業への就職等促進

(ア)市内進学者奨励金給付(留学生等支援資金の活用)

市内の日本語学校を卒業し、市内の他の教育機関(専門学校、大学)に進学した留学生を対象に、申請のあった市内に住民登録を有する留学生全員(75 人)に奨励金 2 万円を交付した。

(イ)市内企業就職者奨励金(高城外国人材活躍支援資金の活用)

北九州市内の大学や日本語学校及び専門学校を卒業し、市内に本社または事業所を有する企業に就職し、市内に住民登録を有する留学生(53 人)に 5 万円を支給した。

イ 関原大連市留学生奨学金給付(関原北九州大連友好基金の活用)

大連市出身若しくは大連市内の大学、専門学校を卒業し、北九州市立大学大学院、九州工業大学大学院、早稲田大学大学院に通う留学生(4 人)に、月額 2 万円(年額 24 万円)を支給した。

ウ 留学生への情報提供

市内の大学等に進学した留学生に対して、大学等のオリエンテーションで生活に必要な情報や協会の外国人支援情報等を提供した(北九州市立大学等計 5 回)。

3 地域社会への外国人市民の積極的な参画と多様な担い手の確保

(1)人材バンク・協会ボランティア登録の推進

ボランティアと人材バンクの運用ルールとして定めていた、「北九州国際交流ボランティア要綱」と「公益財団法人北九州国際交流協会多文化共生人材バンク制度要綱」を廃止し、新たに「KIA 人材バンク要綱」を定め、運用を 7 月 1 日から開始した。既存の人材バンク登録者及びボランティアを新登録分野毎に整理し、新規登録を進めると共に人材の活用を図った。

(登録状況 3 月 31 日現在)

<人材バンク>

○翻訳サポーター(協会や市からの依頼により翻訳を行う):4 人

○日本語教育サポーター(日本語学習の指導を行う):7 人

○文化紹介サポーター(多文化共生や国際理解推進のための講演や研修を行う):18人

○外国語相談サポーター(協会窓口で相談対応や翻訳を行う):5人

<協会ボランティア(言語内訳は重複あり)>

○行政通訳ボランティア:85人 ※うち災害時通訳サポーターとして69人登録

中国語29人、英語17人、ベトナム語10人、韓国語7人、インドネシア語5人、
タガログ語5人、ネパール語5人、タイ語4人、ロシア語3人、モンゴル語2人、
ウクライナ語2人、ドイツ語1人

○医療通訳ボランティア:41人

中国語22人、英語13人、韓国語5人、ベトナム語1人

○専門家相談通訳ボランティア:9人

○交流ボランティアファミリー:45家庭

○日本語教育ボランティア:20人

(2) 自主防災組織等への参画促進(市の委託事業)

ア 外国人市民のための防災研修会

開催日:11月25日

場 所:北九州市消防局八幡西消防署

参加者数:18人

日本語教室学習者、キーネット・日本語教室関係者、八幡西警察署職員、
協会職員

講 師:八幡西消防署予防課 阿部優喜 主任消防士長

内 容:地震体験、消火器の使い方体験、緊急時や急病時の対応の講義、消防士による
救急救命措置デモンストレーション

イ 災害時通訳サポーター等を対象とした研修

開催日:12月16日

場 所:八幡西区役所 509 会議室

参加者数:64人

災害時通訳サポーター、北九州市関係部署職員、北九州イスラム文化交流
センター員、多文化共生マネージャー、福岡出入国管理局職員、市内警察
署員、地域日本語教室関係者、協会職員 等

講 師:一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事 田村太郎氏

内 容:災害時の外国人支援、災害多言語支援センターについての講義

※総務省主催の「災害時外国人支援情報コーディネーター」養成研修へ協会職員2人が
参加した。

(3) 民間団体との連携・協働の推進

ア 国際交流団体との連携

(ア)北九州国際交流団体ネットワーク(キーネット:加盟 60 団体)の事務局支援

総 会:6月11日(子どもの館 子どもホール)

役員会:4回開催

講演会:2回開催

①テーマ:小倉メモリアルクロスの記憶

開催日:6月11日

場所:子どもの館 子どもホール

参加者数:33人

②テーマ:国際NGO カリブニ ひまわりの会 27年の奇跡

開催日:3月18日

場所:子どもの館 子どもホール

参加者数:40人

パネル展:10月3日~17日(ひとみらいプレイス) 参加団体数:14団体

(イ)民間団体の活動支援

○多文化共生の地域づくりに取り組む団体に対して事業経費の一部助成

助成団体:3団体

①二時の会

助成金額:69,764円

②子どもに能楽を勧める会

助成金額:100,000円

③学研ボランティアの会

助成金額:100,000円

○事業の共催、後援及び広報支援等

共催:2件 後援:7件

イ 国際理解教育の推進

(ア)国際理解教育講師の派遣・紹介

福岡県国際交流センター、福岡よかトピア国際財団との協働事業として、外国人市民等を講師として、小・中・高等学校や市民センター等に派遣する事業に協力した。

派遣した市内の学校数及び講師数:12校 30人

(イ)協会職員等の講師派遣

小学校、高校や大学に講師を派遣し、自国の生活や文化等の紹介について講義を行った。

○国際理解推進員(派遣回数 5回)

6月23日 光貞小学校「シンガポールの文化や伝統、生活習慣について学ぼう」

10月27日 筒井小学校「韓国の生活や文化について」

12月1日 ひびき高校「様々な国について知ろう！」

12月8日 光貞小学校「6/23の話しから学んだことを発表しよう」

1月25日 北九州市立大学「異文化理解教育」

○外国人支援主任(多文化ソーシャルワーカー)(派遣回数 10回)

7月7日 全国市町村国際文化研修所「多文化共生の実践コース」

7月27日 出入国在留管理庁「地方公共団体職員外国人施策推進研修」

8月9日 全国市町村国際文化研修所「外国人相談窓口の運営」

9月13日 西南女学院大学「グローバル社会と地域母子保健」

11月17日 宇佐市・北九州国際交流協会「外国人相談窓口研修」

- 12月 5日 出入国在留管理庁「総合的な支援をコーディネートする人材の役割等に関する検討会(第2回)」事例報告
- 12月 22日 福岡出入国在留管理局「外国人相談窓口連絡会・相談対応のスキルアップⅠ」
- 2月 8日 佐賀県国際交流協会「相談員研修」
- 2月 23日 宇佐市「相談員研修」
- 3月 10日 福岡出入国在留管理局「外国人相談窓口連絡会・相談対応のスキルアップⅡ」

○地域日本語教育総括コーディネーター(派遣回数 5回)

- 7月 30日 山口県国際交流協会「学習支援者情報交換会」
- 10月 21日 多文化社会専門職機構「地域日本語教育コーディネーター フォローアップ研修」
- 10月 29日 山口県国際交流協会「やさしい日本語講座(下関市)」
- 12月 19日 長野県「ANADO 大忘年会！」
- 1月 25日 朝日大学他「ANADO カードプレイを通じた海外につながる子ども達支援者研修」

○日本語コーディネーター(派遣回数 4回)

- 10月 21日 小倉北区役所職員 「北九州市職員へのやさしい日本語研修」
- 10月 26日 八幡西区役所職員 「北九州市職員へのやさしい日本語研修」
- 11月 14日 若松区役所職員 「北九州市職員へのやさしい日本語研修」
- 3月 15日 北九州市内の保育所(園)、認定こども園、地域型保育事業所の職員「社会福祉研修所やさしい日本語研修」(オンライン)

ウ 多文化共生の地域づくり

学習会や交流会、交流まつりなどのイベントを通して、多文化共生の地域づくりを推進した。

(ア)英語で語る自分の国

開催回数	参加者数	場所
4回	80人	北九州国際交流協会
6月 4日	台湾	19人
8月 6日	ジンバブエ	20人
10月 1日	ソロモン諸島	18人
2月 4日	イラン	23人

(イ)多文化共生啓発

外国人市民と日本人が相互理解を深める交流会を開催した。

○レッツ トーク! ☆

開催回数	参加者数	場所
3回	58人	北九州国際交流協会
7月 23日	20人(内8人外国人)	
12月 3日	19人(内8人外国人)	
3月 4日	19人(内7人外国人)	

○留学生と日本人の交流会

開催回数:2回 参加者数:56人 場所:北九州国際交流協会

6月18日 留学生9人、交流ボランティアファミリー9家族20人

12月17日 留学生9人、交流ボランティアファミリー7家族18人

(ウ)多文化共生交流事業(市の委託事業)

○外国人市民への図書館ガイドツアーを開催した。

開催日:11月3日

場所:北九州市立中央図書館

参加者数:17人(全員外国人)

○外国人市民と地域住民とのスポーツ交流会を開催した。

開催日:11月20日

場所:門司生涯学習センター大里分館

参加者数:51人(内19人外国人)

(エ)グローバル人材育成事業(市の委託事業)

○私たちの国、案内します。

北九州市在住のモロッコ・タイの外国人市民がガイドとなり、ミニ外国語講座を挟みながら自国の文化や習慣、観光地の紹介を行った。

開催日:8月20日

場所:北九州市立子どもの館 子どもホール

講師:モムニ・ファード氏(モロッコ)

ポツチャラ・ケアオジャンク氏(タイ)

ワサラック・ポンソウトーン氏(タイ)

参加者数:40人

○世界のレシピ～ベトナム編～

北九州市在住のベトナム人が講師となり、途中クイズなどを通して参加者との交流も行いながら本場のベトナム料理を作る様子を生配信した。

開催日:9月3日

場所:オンライン

講師:ルオン ティ マイ氏(北九州国際交流協会 外国語相談員)

参加者数:15人

○国際交流まつり2022

ママパパ日本語教室参加者をはじめとした外国人市民が、「ひとみらい交流ウィーク」期間中に賑わいづくりにつながるバザーや発表、外国人フォトコンテスト等を行った。

開催日:10月15日、16日

場所:北九州国際交流協会

出品国:4カ国 7ブース

来場者数:約370人

(オ)多文化共生の担い手育成

○コミュニティ通訳者スキルアップ研修(協会事業を支える人材育成)

開催日:3月18日

場 所:八幡西生涯学習センター202会議室

講 師:日本公共通訳支援協会 通訳ロールプレイ講師 飯田 まどか氏

参加者数:17人

○インターンシップ実習生の受入

北九州市からの依頼と協会への直接依頼があった大学生を受け入れた。

実習生:北九州市立大学外国語学部国際関係学科 2~3年生 3人

鹿児島大学法文学部法経社会学科 3年生 1人 計4人

実習期間:9月1日~3日 3日間

実習内容:協会事業の学習、日本語教室のアシスタント体験(オンライン)、外国語相談員との意見交換、イベント企画発表 等

《 協会の広報活動 》

○ホームページ等による広報(再掲)

日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語に対応したリニューアル後のホームページから、フェイスブックやインスタグラムの活用と併せて効果的な情報発信を行った。

○北九州市が発行する市政だよりに、協会事業やイベント情報の掲載(38件)

○メールマガジンによる情報提供(月2回)

協会からのお知らせやイベント情報を登録者へ配信(メールマガジン登録者数:560人)

○日本語教室やワンストップインフォメーションPRパンフレットの作成・配布(多言語対応)

○「ボランティアウィーク2022(社会福祉協議会)」での協会事業の紹介(スライド映像)

出展日:10月16日~22日

場 所:ウェルとばた

○「多文化共生わいわい祭り(北九州YMCAとの共催)」への出展

出展日:11月3日

場 所:北九州YMCA

出展内容:外国人フォトコンテスト作品の展示

令和4(2022)年度事業報告の附属明細書

1 事業報告の内容を補足する重要な事項

なし

令和4(2022)年度

決算報告書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

公益財団法人北九州国際交流協会

令和4(2022)年度 貸借対照表

令和5(2023)年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,688,250	10,376,077	△ 2,687,827
未収金	1,563,200	2,011,900	△ 448,700
前払費用	19,000	17,500	1,500
流動資産合計	9,270,450	12,405,477	△ 3,135,027
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	299,947,800	300,000,000	△ 52,200
定期預金	200	0	200
普通預金	52,000	0	52,000
基本財産合計	300,000,000	300,000,000	0
(2) 特定資産			
留学生等支援資金積立資産	36,608,799	38,421,808	△ 1,813,009
外国人材活躍支援資金積立資産	13,049,255	11,300,000	1,749,255
特定資産合計	49,658,054	49,721,808	△ 63,754
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1	1	0
什器備品	1,039,599	1,611,222	△ 571,623
投資有価証券	0	13,374,200	△ 13,374,200
その他固定資産合計	1,039,600	14,985,423	△ 13,945,823
固定資産合計	350,697,654	364,707,231	△ 14,009,577
資産合計	359,968,104	377,112,708	△ 17,144,604
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,897,767	5,586,832	△ 3,689,065
預り金	564,011	564,460	△ 449
流動負債合計	2,461,778	6,151,292	△ 3,689,514
負債合計	2,461,778	6,151,292	△ 3,689,514
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受取寄付金	149,658,054	149,721,808	△ 63,754
指定正味財産合計	149,658,054	149,721,808	△ 63,754
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(49,658,054)	(49,721,808)	(△ 63,754)
2. 一般正味財産	207,848,272	221,239,608	△ 13,391,336
(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)	(200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	357,506,326	370,961,416	△ 13,455,090
負債及び正味財産合計	359,968,104	377,112,708	△ 17,144,604

令和4(2022)年度 正味財産増減計算書

令和4(2022)年4月1日から令和5(2023)年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[2,308,244]	[2,308,244]	[0]
基本財産受取利息	2,308,244	2,308,244	0
特定資産運用益	[1,113]	[526]	[587]
特定資産受取利息	1,113	526	587
受取会費	[555,000]	[609,000]	[△ 54,000]
受取賛助会費	555,000	609,000	△ 54,000
事業収益	[2,501,120]	[2,362,525]	[138,595]
外国人市民の防災支援受託事業収益	456,000	409,200	46,800
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益	997,700	997,700	0
人材育成受託事業収益	349,800	350,625	△ 825
多文化共生事例調査業務事業収益	99,000	0	99,000
外国人と地域住民の交流事業収益	399,960	0	399,960
外国人市民のための図書館ガイドツアー事業収益	99,660	0	99,660
ウライひまわりプロジェクト管理業務受託事業収益	99,000	605,000	△ 506,000
受取補助金等	[71,394,530]	[70,368,000]	[1,026,530]
受取北九州市補助金	61,118,000	61,118,000	0
受取国庫補助金	10,000,000	9,000,000	1,000,000
受取助成金	276,530	250,000	26,530
受取寄付金	[5,067,754]	[7,052,000]	[△ 1,984,246]
受取寄付金	44,000	52,000	△ 8,000
受取寄付金振替額	5,023,754	7,000,000	△ 1,976,246
雑収益	[793,739]	[1,055,969]	[△ 262,230]
受取利息	5	42	△ 37
その他雑収益	793,734	1,055,927	△ 262,193
経常収益計	82,621,500	83,756,264	△ 1,134,764
(2) 経常費用			
事業費	[80,342,072]	[82,516,471]	[△ 2,174,399]
役員報酬	6,150,965	6,157,957	△ 6,992
給料手当	34,942,772	35,448,198	△ 505,426
臨時雇賃金	2,847,930	4,256,240	△ 1,408,310
福利厚生費	8,433,397	8,288,939	144,458
材料費	3,722	25,000	△ 21,278
奨学金	960,000	960,000	0
留学生等支援助成金	1,769,764	3,400,000	△ 1,630,236
外国人人材活躍支援助成金	3,242,000	3,448,159	△ 206,159
旅費交通費	1,460,870	707,670	753,200
通信運搬費	2,297,152	2,274,285	22,867
減価償却費	559,385	559,385	0
消耗什器備品費	1,062,682	247,852	814,830
消耗品費	1,647,447	1,032,838	614,609
車両費	81,920	174,733	△ 92,813
修繕費	22,000	0	22,000
印刷製本費	255,682	353,110	△ 97,428
光熱水料費	2,284,514	2,004,536	279,978
リース料	845,835	845,835	0
使用料貸借料	4,235,625	3,867,189	368,436
災害保険料	76,957	111,612	△ 34,655
報償費	3,797,960	2,979,370	818,590
租税公課	4,000	4,000	0
支払負担金	250,000	250,000	0
委託費	2,284,100	4,270,828	△ 1,986,728
図書費	188,325	163,333	24,992
食糧費	72,073	41,866	30,207
雑費	564,995	643,536	△ 78,541
管理費	[2,357,120]	[2,069,177]	[287,943]
役員報酬	398,735	344,103	54,632
給料手当	226,863	208,512	18,351
福利厚生費	65,797	128,067	△ 62,270
通信運搬費	23,004	21,481	1,523
減価償却費	12,238	12,238	0
消耗品費	95,947	54,359	41,588
印刷製本費	56,984	3,960	53,024
光熱水料費	120,237	102,808	17,429
リース料	44,517	44,517	0
使用料貸借料	523,996	514,473	9,523
会議費	1,230	0	1,230
支払負担金	100,000	100,000	0
報償費	15,000	0	15,000
委託費	594,000	462,000	132,000
交際費	11,186	11,359	△ 173
雑費	67,386	61,300	6,086
経常費用計	82,699,192	84,585,648	△ 1,886,456
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 77,692	△ 829,384	751,692
投資有価証券評価損益等	△ 13,353,644	△ 5,480,844	△ 7,872,800
評価損益等計	△ 13,353,644	△ 5,480,844	△ 7,872,800
当期経常増減額	△ 13,431,336	△ 6,310,228	△ 7,121,108
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取寄付金	[40,000]	[40,000]	[0]
受取寄付金振替額	40,000	40,000	0
経常外収益計	40,000	40,000	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	40,000	40,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 13,391,336	△ 6,270,228	△ 7,121,108
一般正味財産期首残高	221,239,608	227,509,836	△ 6,270,228
一般正味財産期末残高	207,848,272	221,239,608	△ 13,391,336
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	[5,000,000]	[5,000,000]	[0]
受取民間寄付金	5,000,000	5,000,000	0
一般正味財産への振替額	[△ 5,063,754]	[△ 7,040,000]	[1,976,246]
一般正味財産への振替額	△ 5,063,754	△ 7,040,000	1,976,246
当期指定正味財産増減額	△ 63,754	△ 2,040,000	1,976,246
指定正味財産期首残高	149,721,808	151,761,808	△ 2,040,000
指定正味財産期末残高	149,658,054	149,721,808	△ 63,754
III 正味財産期末残高	357,506,326	370,961,416	△ 13,455,090

令和4(2022)年度 正味財産増減計算書内訳表
 令和4(2022)年 4月 1日から令和5(2023)年 3月31日まで

公益財団法人北九州国際交流協会

(単位:円)

科目	公益目的事業会計				法人会計	内部取引消去	合計
	多文化共生推進事業	関原基金事業	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益							
基本財産受取利息	0	877,244	1,330,800	2,208,044	100,200	0	2,308,244
基本財産運用益計	0	877,244	1,330,800	2,208,044	100,200	0	2,308,244
特定資産運用益							
特定資産受取利息	1,113	0	0	1,113	0	0	1,113
特定資産運用益計	1,113	0	0	1,113	0	0	1,113
受取会費							
賛助会員受取会費	0	0	555,000	555,000	0	0	555,000
受取会費計	0	0	555,000	555,000	0	0	555,000
事業収益							
外国人市民の防災支援受託事業収益	456,000	0	0	456,000	0	0	456,000
コミュニティ通訳等派遣業務受託事業収益	997,700	0	0	997,700	0	0	997,700
人材育成受託事業収益	349,800	0	0	349,800	0	0	349,800
多文化共生事例調査業務事業収益	99,000	0	0	99,000	0	0	99,000
外国人市民と地域住民の交流事業収益	399,960	0	0	399,960	0	0	399,960
外国人市民のための図書館ガイドツアー事業収益	99,660	0	0	99,660	0	0	99,660
ウクライナひまわりプロジェクト管理業務受託事業収益	99,000	0	0	99,000	0	0	99,000
事業収益計	2,501,120	0	0	2,501,120	0	0	2,501,120
受取補助金等							
受取北九州市補助金	58,861,080	0	0	58,861,080	2,256,920	0	61,118,000
受取国庫助成金	10,000,000	0	0	10,000,000	0	0	10,000,000
受取助成金	276,530	0	0	276,530	0	0	276,530
受取補助金等計	69,137,610	0	0	69,137,610	2,256,920	0	71,394,530
受取寄付金							
受取寄付金	0	0	44,000	44,000	0	0	44,000
受取寄付金振替額	5,023,754	0	0	5,023,754	0	0	5,023,754
受取寄付金計	5,023,754	0	44,000	5,067,754	0	0	5,067,754
雑収益							
受取利息	2	3	0	5	0	0	5
その他雑収益	793,734	0	0	793,734	0	0	793,734
雑収益計	793,736	3	0	793,739	0	0	793,739
経常収益計	77,457,333	877,247	1,929,800	80,264,380	2,357,120	0	82,621,500
(2) 経常費用							
事業費							
役員報酬	6,150,965	0	0	6,150,965	0	0	6,150,965
給料手当	34,785,913	156,859	0	34,942,772	0	0	34,942,772
臨時雇賃金	2,847,930	0	0	2,847,930	0	0	2,847,930
福利厚生費	8,414,970	18,427	0	8,433,397	0	0	8,433,397
材料費	3,722	0	0	3,722	0	0	3,722
奨学金	0	960,000	0	960,000	0	0	960,000
留学生等支援助成金	1,769,764	0	0	1,769,764	0	0	1,769,764
外国人材活躍支援助成金	3,242,000	0	0	3,242,000	0	0	3,242,000
旅費交通費	1,460,870	0	0	1,460,870	0	0	1,460,870
通信運搬費	2,297,152	0	0	2,297,152	0	0	2,297,152
減価償却費	559,385	0	0	559,385	0	0	559,385
消耗什器備品費	1,062,682	0	0	1,062,682	0	0	1,062,682
消耗品費	1,647,447	0	0	1,647,447	0	0	1,647,447
車両費	81,920	0	0	81,920	0	0	81,920
修繕費	22,000	0	0	22,000	0	0	22,000
印刷製本費	255,682	0	0	255,682	0	0	255,682
光熱水料費	2,284,514	0	0	2,284,514	0	0	2,284,514
リース料	845,835	0	0	845,835	0	0	845,835
使用料賃借料	4,235,625	0	0	4,235,625	0	0	4,235,625
災害保険料	76,957	0	0	76,957	0	0	76,957
報償費	3,797,960	0	0	3,797,960	0	0	3,797,960
租税公課	4,000	0	0	4,000	0	0	4,000
支払負担金	250,000	0	0	250,000	0	0	250,000
委託費	2,284,100	0	0	2,284,100	0	0	2,284,100
図書費	188,325	0	0	188,325	0	0	188,325
食糧費	72,073	0	0	72,073	0	0	72,073
雑費	564,995	0	0	564,995	0	0	564,995
事業費計	79,206,786	1,135,286	0	80,342,072	0	0	80,342,072
管理費							
役員報酬					398,735	0	398,735
給料手当					226,863	0	226,863
福利厚生費					65,797	0	65,797
通信運搬費					23,004	0	23,004
減価償却費					12,238	0	12,238
消耗品費					95,947	0	95,947
印刷製本費					56,984	0	56,984
光熱水料費					120,237	0	120,237
リース料					44,517	0	44,517
使用料賃借料					523,996	0	523,996
会議費					1,230	0	1,230
支払負担金					100,000	0	100,000
報償費					15,000	0	15,000
委託費					594,000	0	594,000
交際費					11,186	0	11,186
雑費					67,386	0	67,386
管理費計					2,357,120	0	2,357,120
経常費用計	79,206,786	1,135,286	0	80,342,072	2,357,120	0	82,699,192
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,749,453	△ 258,039	1,929,800	△ 77,692	0	0	△ 77,692
投資有価証券評価損益等	△ 9,737,400	△ 3,616,244	0	△ 13,353,644	0	0	△ 13,353,644
評価損益等計	△ 9,737,400	△ 3,616,244	0	△ 13,353,644	0	0	△ 13,353,644
当期経常増減額	△ 11,486,853	△ 3,874,283	1,929,800	△ 13,431,336	0	0	△ 13,431,336
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
受取寄付金	40,000	0	0	40,000	0	0	40,000
受取寄付金振替額	40,000	0	0	40,000	0	0	40,000
経常外収益計	40,000	0	0	40,000	0	0	40,000
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	40,000	0	0	40,000	0	0	40,000
当期一般正味財産増減額	△ 11,446,853	△ 3,874,283	1,929,800	△ 13,391,336	0	0	△ 13,391,336
一般正味財産期首残高	—	—	—	—	—	—	221,239,608
一般正味財産期末残高	—	—	—	—	—	—	207,848,272
II 指定正味財産増減の部							
受取寄付金							
受取民間寄付金	5,000,000	0	0	5,000,000	0	0	5,000,000
一般正味財産への振替額							
一般正味財産への振替額	△ 5,063,754	0	0	△ 5,063,754	0	0	△ 5,063,754
当期指定正味財産増減額	△ 63,754	0	0	△ 63,754	0	0	△ 63,754
指定正味財産期首残高	—	—	—	—	—	—	149,721,808
指定正味財産期末残高	—	—	—	—	—	—	149,658,054
III 正味財産期末残高	—	—	—	—	—	—	357,506,326

令和 4（2022）年度附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載するため、内容の記載を省略する。

2 引当金の明細

該当なし。

財 産 目 録
令和 5 (2023) 年 3 月 31 日現在

公益財団法人北九州国際交流協会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	68,138
	預金	普通預金	運転資金として	
		福岡銀行八幡支店		967,679
		西日本シティ銀行八幡支店		382,187
		福岡ひびき信用金庫本店営業部		6,228,676
		北九州銀行八幡支店		24,350
		佐賀銀行八幡支店		7,020
		福岡中央銀行黒崎支店		7,020
		郵公振替貯金		3,180
	未収金	北九州市	事業に供する未収分	1,563,200
	前払金	ボランティア活動保険	令和 5 年度分	19,000
流動資産合計				9,270,450
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	神奈川県第 31 回 20 年公募公債	定款で定めた基本財産であり、運用益を公益目的事業及び管理運用に充てるための資産である。 公益目的保有財産 90% 90,000,000 円 収益事業・管理活動財産 10% 10,000,000 円	100,000,000
		第 152 回利付国債	定款で定めた基本財産であり、公益目的保有財産として運用益を公益目的事業に充てることとしている。	50,000,000
		福岡市平成 28 年度第 6 回公募公債		100,000,000
		第 160 回利付国債		50,000,000
		神奈川県第 31 回 20 年公募公債他	打歩発行により取得した金利未償却残高及び期末時点における時価評価損益である。	△52,200
	定期預金	定期預金		
		福岡銀行黒崎支店		200
	普通預金	普通預金		
		福岡銀行八幡支店		52,000
特定資産	留学生等支援資金	定期預金	寄付によって受け入れた財産で、寄付者の定めた使途(留学生に対する支援)を目的に積み立てている資産である。	
	積立資産	福岡ひびき信用金庫本店営業部		7,500,000
		佐賀銀行八幡支店		9,500,000
		福岡中央銀行黒崎支店		9,500,000
		北九州銀行八幡支店		9,000,000
		普通預金		
		福岡銀行八幡支店		1,108,799
	外国人材活躍支援	定期預金	寄付によって受け入れた財産で、寄付者の定めた使途(外国人に対する支援)を目的に積み立てている資産である。	
	資金積立資産	福岡銀行黒崎支店		10,000,000
		普通預金		
		福岡銀行黒崎支店		2,578,927
		貯蔵品 クオカード在庫数 383 枚		470,328
その他固定資産	車両運搬具	スバル軽自動車 1 台	公益目的保有財産である。	1
	什器備品	ノートパソコン 6 台他	公益目的保有財産 1,009,062 円 管理活動財産 30,537 円	1,039,599
固定資産合計				350,697,654
資産合計				359,968,104
(流動負債)				
	未払金	北九州市他	事業に供する経費未払分	1,897,767
	預り金	社会保険料他 2 件	令和 4 年度分	564,011
流動負債合計				2,461,778
負債合計				2,461,778
正味財産合計				357,506,326

令和4(2022)年度 財務諸表に対する注記

この財務諸表は、公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）及び同実務指針（平成28年3月22日 平成28年12月22日改正 日本公認会計士協会）に準拠して作成している。なお、会計区分は移行認定に係る行政庁からの決定処分にもとづいている。

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券のうち時価のあるものについては、期末日の市場価格等にもとづく時価法（売却原価は移動平均法により算定）により行っている。なお、その他有価証券に係る評価損益は、当年度における損益として処理している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	300,000,000	0	52,200	299,947,800
定期預金	0	200	0	200
普通預金	0	52,000	0	52,000
小計	300,000,000	52,200	52,200	300,000,000
特定資産				
※1	38,421,808	0	1,813,009	36,608,799
※2	11,300,000	5,000,000	3,250,745	13,049,255
小計	49,721,808	5,000,000	5,063,754	49,658,054
合計	349,721,808	5,052,200	5,115,954	349,658,054

※1 留学生等支援資金積立資産

※2 外国人材活躍支援資金積立資産

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	299,947,800	(100,000,000)	(199,947,800)	—
定期預金	200	(0)	(200)	—
普通預金	52,000	(0)	(52,000)	—
小計	300,000,000	(100,000,000)	(200,000,000)	—
特定資産				
※1	36,608,799	(36,608,799)	(0)	(0)
※2	13,049,255	(13,049,255)	(0)	(0)
小計	49,658,054	(49,658,054)	(0)	(0)
合計	349,658,054	(149,658,054)	(200,000,000)	(0)

※1 同上

※2 同上

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
車両運搬具	977,855	977,854	1
什器備品	3,446,464	2,406,865	1,039,599
合計	4,424,319	3,384,719	1,039,600

5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
事業補助金	北九州市	0	61,118,000	61,118,000	0
※1	※1	0	10,000,000	10,000,000	0
※2	※2	0	150,000	150,000	0
※3	※3	0	126,530	126,530	0
合計		0	71,394,530	71,394,530	0

※1 自治体国際化協会補助金

文化庁

※2 おしゃべり発表会助成金

公益財団法人西日本国際財団

※3 地域国際化協会連絡協議会研修助成金

一般財団法人自治体国際化協会

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
事業実施による指定解除額	5,023,754
経常外収益への振替額	
事業実施による指定解除額	40,000
合計	5,063,754